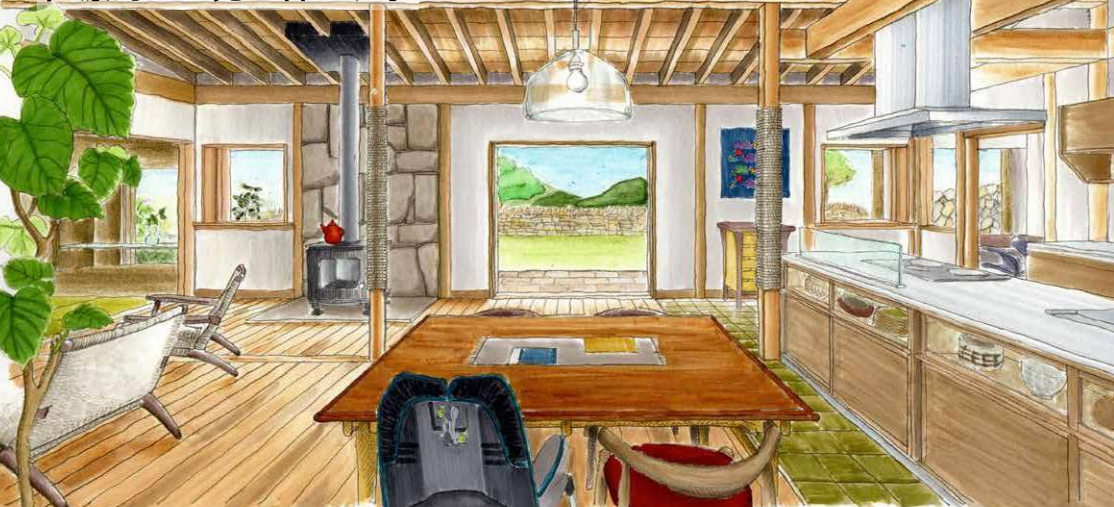


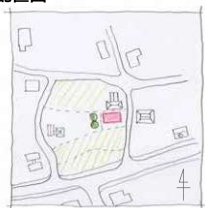
医療的ケア児と暮らす家



■ 設計趣旨

医療が進歩することで助かる命が増えた。それは新生児にも言えることだ。重度の障害を持って産まれても、見捨てられることなく医療が施されるようになった。そうして助かったかけがえない命とともに家族は家へ帰る。しかしその先に待っているのは、慣れない介護・看護生活だ。情報が不足する中、試行錯誤で看護しつつ、これから先の未来を憂う。もちろん他の兄弟姉妹のことも考えなくてはならない。家事は満足にできず、仕事の両立は困難を極める。そんな出産前に思い描いていた理想からかけ離れた生活にいつしか疲弊してしまい、自分を見失う。医療的ケア児はここ10年で2倍に増え2万人を超える。そしてその子供を支える家族がいるのだ。福祉環境整備が追い付かない中、建築・インテリアに何が出来るか。家事と看護を効率的に行い、子供たちも自分も大切できる家と考えた。

■ 配置図



▲山や川など自然に囲まれた地域で、敷地周辺には園が多い。

■ 南立面図



▲医療的ケア児にとって、電源確保は重要。太陽光パネルと蓄電池を設置し災害などの緊急時にも備える。

■ ファミリーストーリー

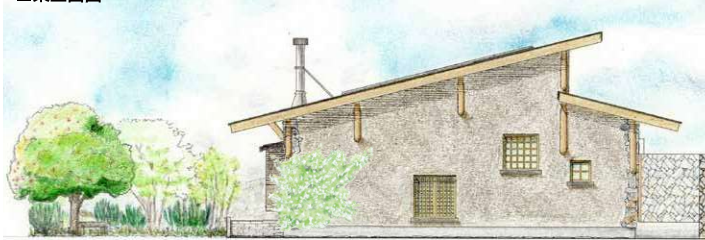
コロナ禍の中、長男（重症心身障害児）が産まれる。都市部の児童発達支援センターこども園は母子通園の為、妻は就労継続困難となる。そんな中、夫はリモートワークがメインになり、長女が統括するタイミングで、福祉環境が比較的整っている郊外へ引っ越すこととなった。郊外には母子分離通園のこども園があり、妻は役場への転職が決まった。

■ 長男について

- ・ 肢体不自由（全介助）
- ・ 日常の医療ケアは嚥痰吸引、経管栄養、吸入
- ・ 不調時は酸素濃縮装置による酸素投与・モニター管理
- ・ 風邪を引くと肺炎になり入院することが多い
- ・ 光を見たり、手の触れ遊びが好き
- ・ お風呂に入るのが好き

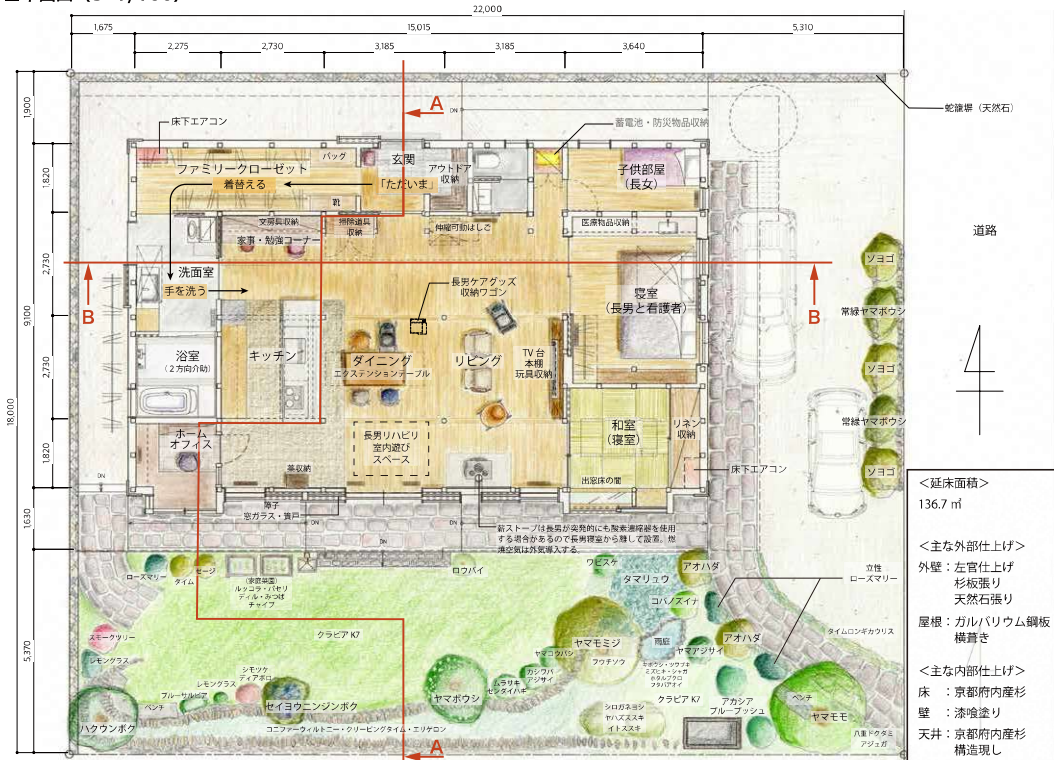


■ 東立面図



▲軒やけらばを支える肘木はヒノキ丸太。環境に馴染むように外壁は深い緑が入った左官仕上げ。

■ 平面図 (S=1/100)



- <延床面積> 136.7㎡
- <主な外埠仕上げ> 外壁：左官仕上げ 杉板張り 天然石張り 屋根：ガルバリウム鋼板 横書き
- <主な内埠仕上げ> 床：京都府内産杉 壁：漆喰塗り 天井：京都府内産杉 構造現し

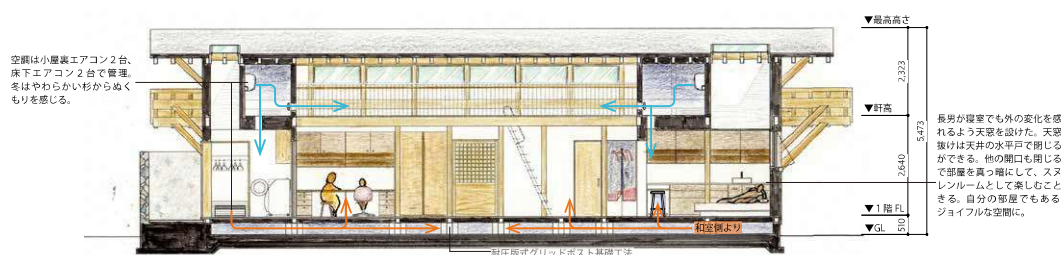
■ 家事

キッチン裏に浴室、洗面（洗濯機）、干場（屋外、浴室乾燥）を配置。さらにファミリーローゼットとつなげることで洗濯から片付けまでの動線を短くした。洗濯物を畳んだり、アイロンや裁縫を行う家事コーナーは勉強コーナーと併設。間取りをシンプルにすることで各部屋への家事をする際のアクセスが容易。

■ 庭

石積みで高低差を楽しめる植栽を形成。和室以外の全体には芝の代用となる根張りの深いクラビア K7 を使用。昨今の気象状況を鑑み、土壌流出防止と共に石積みから緩やかに傾斜した先には雨庭を設け治水対策とする。道路から庭入口付近までは様々な樹木を用い外からの視線を遮るが、塀のような拒絶感はない。裸足やバギーで走り回れる前庭性のグラウンドカバーや、四季を通じて五感で楽しめる樹木、料理に使うハーブ、落葉や雑草を堆肥にするコンポスト、ハンモックやスラックライン等、庭という身近な自然を家族で満喫できる作りとしている。

■ B-B 断面 (S=1/100)



空間は小規模エアコン2台、床下エアコン2台で管理。冬は暖か夏は涼しい気持ちを感じる。

長男が寝室でも外の変化を感じられるよう天窗を設けた。天窗の吹抜けは天井の水平戸で閉じることが出来る。他の開口も用いることで部屋を真っ暗にして、スヌーズレインコートとして楽しむことが出来る。自分の部屋でもあるのでジョイフルな空間に。

■ 介護・看護

外から室内に至るまで大きな段差をなくし、また廊下を作らないことで、長男が他の家族同様どこにでも移動できるようにした。日常よく使うケグッズはキャスターワゴンに収納し、長男とともに移動する。調子が悪い時は寝室のベッドで過ごすことになるので、長男の寝室のカウンター上でテレワークができる。また長男の寝室には大きな開口を取り、キッチンから様子を見える。

■ A-A 断面 (S=1/100)



出窓を活用しワークスペースを広く取ったオフィスルーム。開口部のガラスを通して、景色を元来しつつ室内の気配も感じることが出来る。

自分から動いて刺激を得にくい長男にとって、気軽に連れて行ってもらえる庭は嬉しいもの。草花の香りや触感、風や木漏れ日を感じて。

長男が料理できるように1段低いワークトップを挿入付けた。買ってきた食材の一時置き場にも。

取らかりちな家事・勉強コーナーは、副席時にさっと閉せるロールカーテンを設置。